

チャペル週報

No. 8

2012. 5. 28 ~ 6. 1

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。

(ローマの信徒への手紙15:13)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 5月28日(月) 神 <ペンテコステ礼拝> 阪 口 新 (神学部M2)
経 辻 学 (広島大学大学院総合科学研究科教授)
人 音楽チャペル バロックアンサンブル
聖和 聖書物語「脱出」
-
- 5月29日(火) 神 中 田 道 隆 (神学部M2)
文 音楽チャペル バロックアンサンブル
社 ペンテコステ (聖霊降臨日) を覚えて 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 ボランティア活動の勧め (1) NPOかめのすけ
経 経済と人間⑤ 猪 野 弘 明 (経済学部准教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 ペンテコステをおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
総 小 西 尚 実 (総合政策学部准教授)
-
- 5月30日(水) 神 <アジア・エキュメニカル週間を覚えて> きむ きがん
社 人権を考えるチャペル Gabriele Hadl (社会学部助教)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 嶋 村 誠 (商学部准教授)
人 讚美歌練習 嶺 重 淑 (宗教主事)
国 長 友 淳 (国際学部専任講師)
聖和 「あなたの造り主をおぼえよ～『友だち百物語』の世界～」 岩坂 二規 (教育学部准教授)
理 「花は美しい」 永 田 雄次郎 (文学部教授)
総 宗教総部 献血実行委員会
-
- 5月31日(木) 神 汐 碓 直 美 (神学部M2)・西 村 博 美 (神学部4年)
文 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
社 春の音楽チャペル ハンドベルクワイア
法 ボランティア活動の勧め (2) NPOかめのすけ
経 経済と人間⑥ 平 山 健 二 郎 (経済学部教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 English Chapel Jesse E. Olsen (国際学部准教授)
聖和 「80歳のダッドレーチャペル」小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
総 久保田 哲 夫 (総合政策学部教授)
-
- 6月1日(金) 院 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
神 神 田 健 次 (神学部教授)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済と人間⑦ 寺 本 益 英 (経済学部教授)
人 共に生きる⑤ 嶺 重 淑 (宗教主事)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 「逆転の発想」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
6月1日(金) 経済学部のために 利 光 強 (経済学部長)

Pentecost

David Wider

In Acts 2 the Bible tells us the story of Pentecost, the coming of the Holy Spirit: “A sound came from heaven, as of a rushing mighty wind, and it filled the house where the apostles were sitting”. A wind, not destructive like a tornado, but creatively entering into human beings, converting them and empowering them to speak and listen. The Pentecostal communication brought together people of different languages and cultures: Parthians, Medes and Elamites and many more. By mentioning them, the story points out that the Spirit overcame fixed borders and frontiers. Aliens suddenly turned into neighbors and the mental map of the world was changed.

Have you ever looked at a historical world map? Then you must have noticed with a chuckle the many blank spots on the map. Whole islands are missing there and even half continents. One looks vainly for Japan on a European medieval map. Actually the attempt to make a map is a very early enterprise in human history as geographical mural paintings from Stone Age show. It seems that human beings have always tried to get an idea of the place where they were living. Anthropologists define human being as *animal symbolicum*, a symbol-making animal. Humans do not only live in a physical environment, they create a symbolic universe because they want to know where they stand and who they are. Today geographical knowledge has grown immensely. We have satellite images and digital cartography. Every spot is surveyed, and with Google Earth you can almost look into living rooms of faraway people. But in the midst of overwhelming foreign influence the own lifeworld seems to vanish out. So in the past people were sailing around with insufficient maps, but today people may lose themselves in spite of GPS trackers.

The Pentecost narration gives us the image of an amazing change of the symbolic universe, a true globalization, as one might say. The new insight was: God loves all mankind. Now the point is not that the Holy Spirit made everybody talk the same language (as is often said). The point is: Everyone heard the others speak in his/her own language (Acts 2,8). If globalization means monodirectional talking and acting, then critics are right in saying that it actually decreases inter-cultural contact while increasing the possibility of international conflict. But the story of Pentecost gives us another vision of unification, the vision of a communication based on mutuality, on hearing the voice of the other.

(神学部教授・宣教師)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパス正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月28日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル
5月29日(火) 関西学院聖歌隊
6月4日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部
6月5日(火) 関西学院交響楽団音楽アンサンブル
6月12日(火) 関西学院ハンドベルクワイア
6月14日(木) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

いずれも12時50分～13時20分

会 場：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●畠山重篤氏講演会「森は海の恋人；人の心に木を植える」

海の環境を良くするために森の大切さを説く漁師、畠山重篤氏を招き、環境を守るため、森、川、海をトータルで考える必要性を学ぶ。一般参加可能、申込み不要、入場無料。

と き：2012年6月13日（水）11：10～12：40

と ころ：関西学院会館レセプションホール

主 催：キリスト教と文化研究センター

講 師：畠山 重篤（はたけやま しげあつ）氏

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることに気付き、「牡蠣の森を慕う会」を結成。（2009年、NPO法人森は海の恋人を設立）1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。この活動は、小・中学校の教科書にも紹介され、同時に環境教育の一助として全国から子どもたちを養殖場に受け入れている。緑化推進功労者内閣総理大臣表彰（2003年）、宮沢賢治イーハトーブ賞受賞（2004年）、国連森林フォーラム「フォレスト・ヒーローズ」受賞（2012年）。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18：00～18：20 1405教室）

6月1日（金） アンドレアス・ルスターホルツ（文学部宗教主事）

8日（金） 樋口 進（宗教センター宗教主事）

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月10日(日)、24日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。